



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月28日

上場会社名 株式会社 ショクブン

上場取引所 東名

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 朋春

問合せ先責任者 (役職名) 経理企画室長 (氏名) 宮原 利彦

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,632	1.4	12		15		30	
2022年3月期第1四半期	1,656	1.2	44	8.4	44	6.7	16	57.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 31百万円 ( 250.6%) 2022年3月期第1四半期 12百万円 ( 65.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.99	
2022年3月期第1四半期	1.07	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,871	2,401	40.9
2022年3月期	5,839	2,510	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,401百万円 2022年3月期 2,510百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		2.50		2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,457	4.2	91	13.9	91	24.8	80	70.5	5.18
通期	7,318	6.4	263	3.5	263	4.4	239	8.0	15.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	17,691,669 株	2022年3月期	17,691,669 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,253,522 株	2022年3月期	2,253,428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	15,438,171 株	2022年3月期1Q	15,438,390 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているものの、まん延防止等重点措置は3月21日をもって全面解除され、ワクチン接種の普及等の効果もあり、経済活動は徐々に持ち直しの動きがみられております。その一方で、世界的な資源価格の高騰による物価上昇や、国際情勢の緊迫化がもたらす地政学的リスクの顕在化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する食品宅配業界におきましては、巣籠り需要の反動減や、原材料価格、配送コスト等の上昇が見込まれ、引き続き厳しい経営環境が予想されております。

このような状況の中、当社グループは、従来以上の社会のインフラとしての役割を果たすとともに、新たな取り組みを積極的に展開してまいりました。静岡県浜松市を中心に夕食材料の販売・宅配を主要な事業としております株式会社サンクックと特約店契約を締結し、2022年6月20日より、静岡県西部地区において当社のメニュー・食材の提供を開始いたしました。現在、浜松地区での新規顧客を増やすべく、広告宣伝活動を強化しております。また、自社開発PB商品「旬味百撰」をECサイトで販売を開始し、8月からは「金の煮つけ」、「金の煮込みビーフステーキ」、「銀のぶりかま」などの販売も開始いたします。今後はこれら自社開発PB商品を量販店等で販売する検討も行ってまいります。年末商戦に向けた取り組みも既に開始しており、昨年末に入手困難であった人気商品の仕入れも目途を付けることができ、併せて東海地方の名産品を新たにラインナップに加えるなど、魅力ある品揃えの充実を図っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、主力のメニュー商品売上高は15億75百万円(前年同四半期比100.9%)、特売商品売上高については、57百万円(前年同四半期比60.5%)になりました。特売商品売上高の前年対比減少につきましては、当社主力商品であるメニュー商品の強化を図る目的で、新規、休眠先の掘起こしを強化したことが主な原因です。

売上原価につきましては、魚介類を中心とした原材料価格および包装資材費の高騰、製造拠点における人件費および水道高熱費の上昇等により売上原価率は61.1%と前年同四半期の59.4%に比べ1.7ポイントの大幅な増加となりました。昨今の急激な原材料価格の高騰は、今期予算策定時に想定したレベルを超え、今後も上昇基調にあることから、9月を目途に商品価格を一定程度値上げする予定です。

また、販売費及び一般管理費は、関西地区および静岡県でのTVコマーシャル放映等、広告宣伝費用が増加したこと、および人件費についても昨年末よりベースアップを順次行っている結果、前年同四半期より19百万円増加し、6億47百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は16億32百万円(前年同四半期比98.6%)、営業損失は12百万円(前年同四半期は44百万円の営業利益)、経常損失は15百万円(前年同四半期は44百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円(前年同四半期は16百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当社としましては食を通じて引き続き社会のインフラに貢献すべく、魅力ある高付加価値商品の開発や新たな販路開拓による売上高強化に努めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、リース資産(有形固定資産)が1億29百万円増加した一方、現金及び預金が1億55百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ31百万円増加の58億71百万円になりました。

負債につきましては、リース債務が1億40百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加の34億69百万円になりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少の24億1百万円となりました。これは、剰余金の配当77百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円を計上したことにより、利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想については、2022年5月11日に公表しました予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,064,757	1,909,031
売掛金	89,160	90,063
原材料及び貯蔵品	95,643	106,342
その他	42,139	73,935
貸倒引当金	△55	△53
流動資産合計	2,291,646	2,179,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	470,477	468,364
土地	2,338,231	2,338,231
その他(純額)	283,878	411,563
有形固定資産合計	3,092,586	3,218,159
無形固定資産		
投資その他の資産	42,291	56,721
投資有価証券	7,504	7,504
退職給付に係る資産	314,379	318,661
繰延税金資産	1,196	1,118
その他	90,240	89,573
投資その他の資産合計	413,320	416,858
固定資産合計	3,548,198	3,691,739
資産合計	5,839,845	5,871,058
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	298,324	267,411
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	145,392	145,392
未払法人税等	9,011	5,336
賞与引当金	47,000	23,500
契約負債	9,960	8,434
その他	324,617	436,303
流動負債合計	2,084,306	2,136,378
固定負債		
長期借入金	956,552	920,204
資産除去債務	28,886	28,957
繰延税金負債	24,684	34,146
その他	234,952	350,020
固定負債合計	1,245,075	1,333,328
負債合計	3,329,381	3,469,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,230,181	3,230,181
利益剰余金	272,292	164,378
自己株式	△1,111,327	△1,111,347
株主資本合計	2,491,147	2,383,212
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	19,316	18,139
その他の包括利益累計額合計	19,316	18,139
純資産合計	2,510,463	2,401,351
負債純資産合計	5,839,845	5,871,058

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,656,502	1,632,713
売上原価	983,163	997,625
売上総利益	673,338	635,088
販売費及び一般管理費	628,790	647,971
営業利益又は営業損失(△)	44,547	△12,883
営業外収益		
受取利息	13	0
受取手数料	4,629	4,891
その他	494	1,418
営業外収益合計	5,137	6,310
営業外費用		
支払利息	5,035	4,665
その他	62	4,037
営業外費用合計	5,098	8,703
経常利益又は経常損失(△)	44,586	△15,276
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	44,586	△15,276
法人税、住民税及び事業税	5,367	5,337
法人税等調整額	22,663	10,159
法人税等合計	28,030	15,496
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,555	△30,773
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	16,555	△30,773

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16,555	△30,773
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3,805	△1,176
その他の包括利益合計	△3,805	△1,176
四半期包括利益	12,750	△31,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,750	△31,950

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。